【作品名】

SST すごろく

【学校名】

日立市立滑川小学校

【活用できる領域・教科等】

自立活動

【制作者名】

木幡　時央

【制作の意図】

体を動かして、楽しみながら活動に取り組む中で、ルールを守ってコミュニケーションを取ることができる。

【使用の方法】

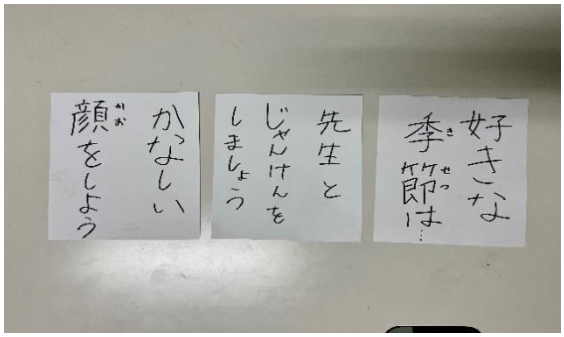
２人以上で行う。お題が書かれているカードをすごろくのマスとして並べて、サイコロをふる順番を決める。サイコロをふり、出た目だけ進み、止まったマスに書いてあるお題に答える。お題に答えたら次の人がサイコロをふる。

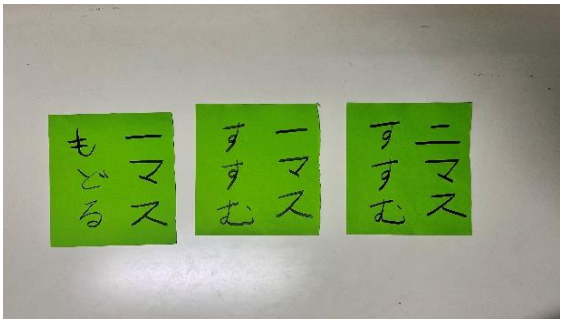
【制作上の工夫】

答えやすいお題にすることで、自分から話すことが苦手な児童も話しやすくしている。

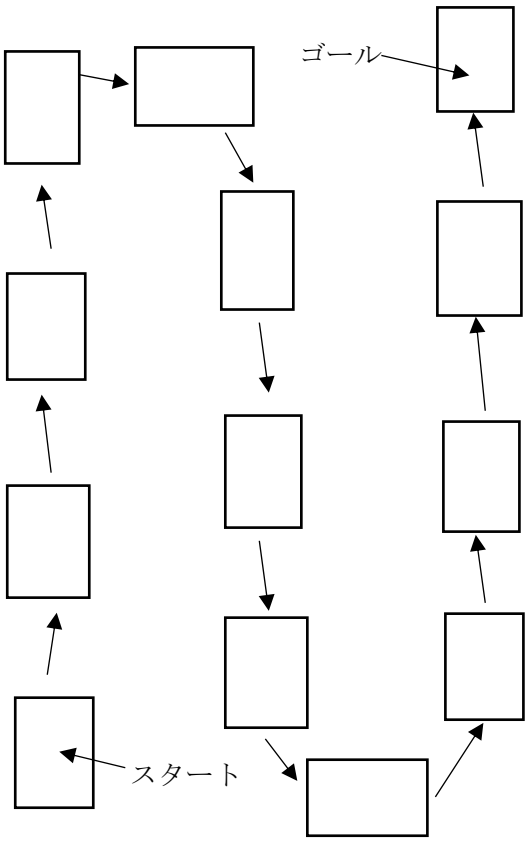
すごろくの駒を動かすのではなく、自分自身が駒になって動くようにしたので、体を動かしながら楽しむことができる。

【写真】





【見取り図】



【材料・材質・部品等】

画用紙

色ペン

【使用効果と応用発展】

・自分が話すだけでなく、友達に質問したり、友達の話を聞いたりすることができ、コミュニケーションにつながる。

・集団の前で話すことが苦手な児童が、話すきっかけを作ることができる。

・戻るマスを作ることで、自分の気持ちをコントロールする力を養うことができる。